

2025年度企画展

大空をぐるっと見渡そう。

雨

恵みと脅威

期| 7月19日土 ~ 10月5日日
間|



山と川と人のミュージアム
富山県 立山カルデラ砂防博物館
TATEYAMA CALDERA SABO MUSEUM

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂 68
TEL 076-481-1160 FAX 076-482-9100
<https://www.tatecal.or.jp/tatecal/index.html>



2025年度企画展

雨

恵みと脅威

7/19日 ▶ 10/5日

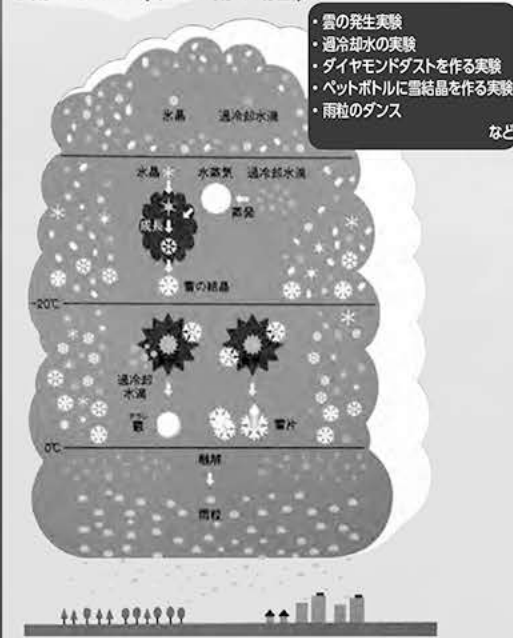
大空での誕生から生活への影響まで。
身近なようで意外と知らない雨の世界を
のぞいてみましょう。

実験で雲の中のようなすをまねよう！ 日本の雨は夏でも雪からできる？！

日本で降る雨の多くは、雲の中でできた雪が
落ちてくるうちに融けて雨になったものです。
これを冷たい雨といいます。

雲の中では、いったい何が起きているのか、
実験で見てください。

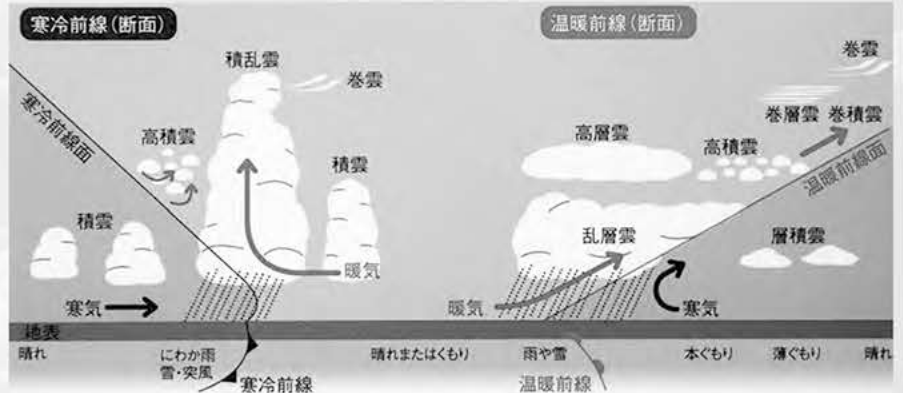
●雨のしくみ（冷たい雨の場合）



この夏、博物館に低気圧発生 大雨警報発令中！

展示室で低気圧を再現！

日本は、梅雨前線や温帯低気圧、台風などによって雨が降ります。このうち低気圧（温帯低気圧）は、南からの暖気と北からの寒気が前線で接して渦巻きを作るように発達します。このため、前面には温暖前線、後面には寒冷前線ができます。



■温暖前線

温かい空気が冷たい空気のにし上がって上昇します。前線通過の1000kmも前から巻雲があらわれ、前線が近づくにつれて厚く低い層状の雲となって雨をもたらします。

■寒冷前線

冷たい空気が暖かい空気の下にもぐりこむことにより上昇気流が発生して、積乱雲が発達します。短時間に雷を伴った強い雨が降ります。

雪崩や土石流の恐さを大規模実験で体験しよう！



大規模雪崩土石流実験で土石流の恐さを体験

大雨が降ると恐ろしい土石流が発生して、大きな被害をもたらします。

ピンポン球1万個を落下させる大規模実験で、雪崩や土石流の脅威を体験しましょう。



1969（昭和44）年8月の集中豪雨により称名川で発生した土石流。

◆会 場：立山カルデラ砂防博物館エントランスホール、企画展示室

◆開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）

※9月・10月の平日は9時30分開館

◆休館日：9月1日、8日、16日、24日、29日

◆企画展観覧料：無料

◆常設展観覧料：大人400円、大学生以下・70歳以上無料

山と川と人のミュージアム
富山県立山カルデラ砂防博物館
TATEYAMA CALDERA SABO MUSEUM

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峰寺字ブナ坂68

TEL 076-481-1160 FAX 076-482-9100

<https://www.tatecal.or.jp/tatecal/index.html>

